

**【委員会における議論のポイント】**

今回の格付け結果は、C評価が1名、D評価が7名と、総じて低い評価となった。

多くの委員が、日大のガバナンス問題や組織構造的な要因に対する調査が不十分であり調査範囲が十分でないこと、田中理事長に対してヒアリングを実施したのか、どのような回答があったのかという重要な情報が欠落していることを、大きくマイナス評価した。

また、教育機関や学生スポーツに関する委員の専門性が不足すること、再発防止提言が実効性に乏しいことも、多くの委員がマイナス評価した。

内田氏と井上氏の不合理な弁解を覆した点、日大の危機対応の不備を詳細に事実認定した点についてはプラス評価する委員もいたが、前者についてはそもそも不合理な弁解だから覆されて当然という評価をする委員もいた。

以上